

(学校番号 27)

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【沼影小】

①	今年度の課題と授業改善策		
	学習上・指導上の課題		授業改善策【評価方法】
知識・技能	<学習上の課題> 国語「情報の取り扱い方に関する事項」について、全国平均に近いポイントである。 <指導上の課題> 情報を読み取り、伝える機会が少ない。	⇒	教科を絞らずに情報を読み取り、伝える機会を増やす。
思考・判断・表現	<学習上の課題> 算数の回答において、理由を問われた際の無回答率が高い傾向がある。 <指導上の課題> 児童の考えを伝える機会が少ない。	⇒	学習の中でタブレットを併用しながら、自分の考えをまとめ、伝える機会を増やす。

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	国語「漢字を正しく書く力」は、無回答率が低く、また「言語の特徴や使い方に関する事項」の定着が高い傾向が見られる。しかし、「文の中における主語と述語との関係を捉えることができるかどうかをみる」問題の回答から、日常的に文章を書く習慣を付け、文章を書く力を高めていく指導を継続して行う必要がある。 算数の基礎的・基本的な知識・技能の定着が図れている。課題としては、計算結果を出すだけではなく、除数や商の大きさの関係に着目させたり、計算結果について言葉や図など様々な方法で表現し、説明させたりする活動を大切にしていける必要がある。
思考・判断・表現	国語では、登場人物の相互関係や心情などについて描写を基に捉えられる児童が多い。オクリンク等を活用して、登場人物の心情や情景描写に線を引いて相互関係を考え、共有する活動を通した授業づくりの成果が見られた。一方で、物語を読んで自分の心に残ったところとその理由をまとめて書く問題では課題が見られる。 算数では、示された情報を基に、表やグラフから必要な数値を読み取り、数や式、言葉で表現したり、結果からわかることを判断したりしている。立方体の公式が不十分のため、正方形と立方体の関係について考えたり、高さについての理解を深めたりする活動を大切にしていける必要がある。

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	授業改善策の達成状況	授業改善策【評価方法】
知識・技能	C	教科や取り扱う教材によって工夫が必要であるが、情報を読み取り、伝える機会は増加しており、今後も継続して指導を行う。	継続して情報を読み取る機会を増やす学習計画を実施する。
思考・判断・表現	B	オクリンクを使用して自分の考えをまとめ、伝える機会は増えているので、他者との比較、物事の比較についても考える機会を作っていく。	学習の中で自分の考えを伝える機会を取り入れた学習計画を継続して行う。

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	「話すこと・聞くこと」について、課題が見られた。日々の学習の中で伝える機会が少ないと考えられる。「言葉の特徴や使い方に関する事項」に課題が見られる。知識として理解はしているが、使い方については学ぶ機会が少ないと考えられる。課題として見られた、無回答率については数値が下がり、自分の考えを伝えるということではできるようになってきた。
思考・判断・表現	理科「エネルギー」を柱とする領域において、小5・小6ともに平均正答率が低い結果となった。細かく見ると、回路について取り扱った問題の正答率が低いため、既習事項の基本的な知識を活用する場面が少ないことと考えられる。その上で実験等に取り組むと、より理解がふかまると考えられる。

⑤	評価(※)	授業改善策の達成状況
知識・技能	B	毎時間、本時のねらいを明確にした授業計画から、何を学んだのか実感できるようになった。「学びに向かう力等」の質問に対する解答は肯定的なものが多いので、自分自身の学びが生活の中で活かされていることを伝えながら、学習活動を行うとよりよくなる。
思考・判断・表現	B	タブレットを活用することで、相互評価をスタンプ・コメント等で行いやすくなっている。オクリンク等も活用し、お互いの考えを共有しながら、協働的な学びの場を作っていくことができた。

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	「話すこと・聞くこと」、「読むこと」については、学習内容に取り入れつつ、話し方・聞き方といった知識や技能の活用方法についても、実践を通して学ぶ必要がある。国語の学習では、登場人物、情景等、何をもとに変化を読み進めているのか、毎時のねらいを明確にして学習計画を立てていく。基礎・基本については全学年で繰り返し取り組み、知識の定着を図っていく。
思考・判断・表現	学習活動の中で、計画的に協働的な学びの機会を取り入れ、自らの考えを伝えること、互いの考えを理解し合う機会を意図的に作っていく。「データの活用」については、高い正答率を示しているため、今後は根拠や理由についても考え、まとめる場を多く設定する。

※評価

A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)